第9章 子どもの貧困対策【問31~問33】

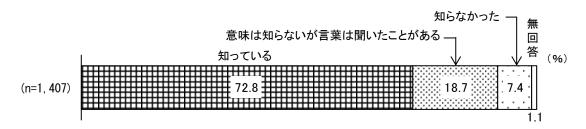
1 「子どもの貧困」の認知度【問31】

【全体の状況】

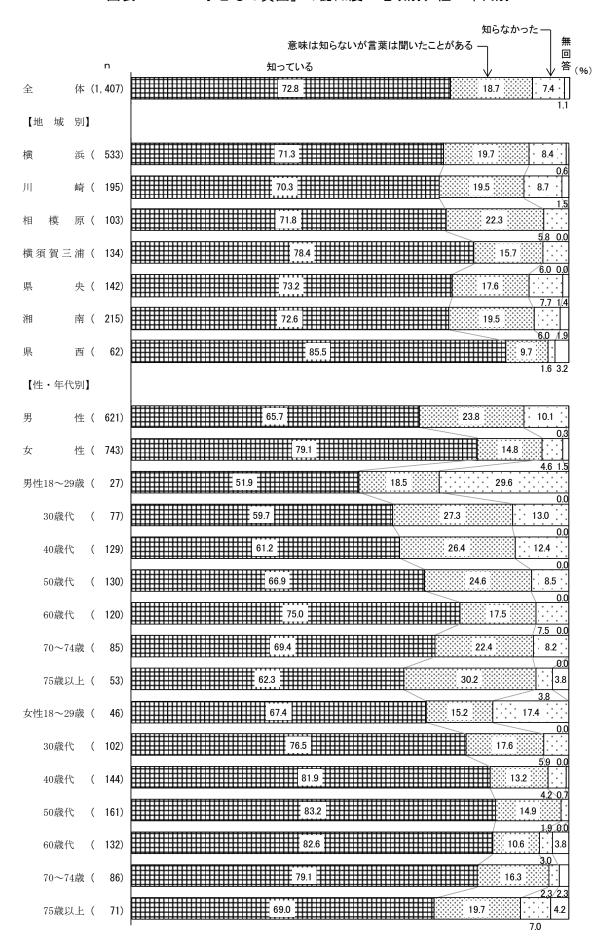
「子どもの貧困」という言葉の意味を知っているか尋ねたところ、「知っている」が72.8%であった。

一方、「知らなかった」は、7.4%であった。 (図表9-1-1)

図表9-1-1 「子どもの貧困」の認知度



図表9-1-2 「子どもの貧困」の認知度-地域別、性・年代別



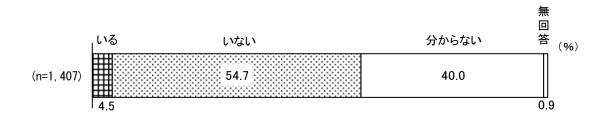
2 身近で支援を必要とする子どもの有無【問32】

【全体の状況】

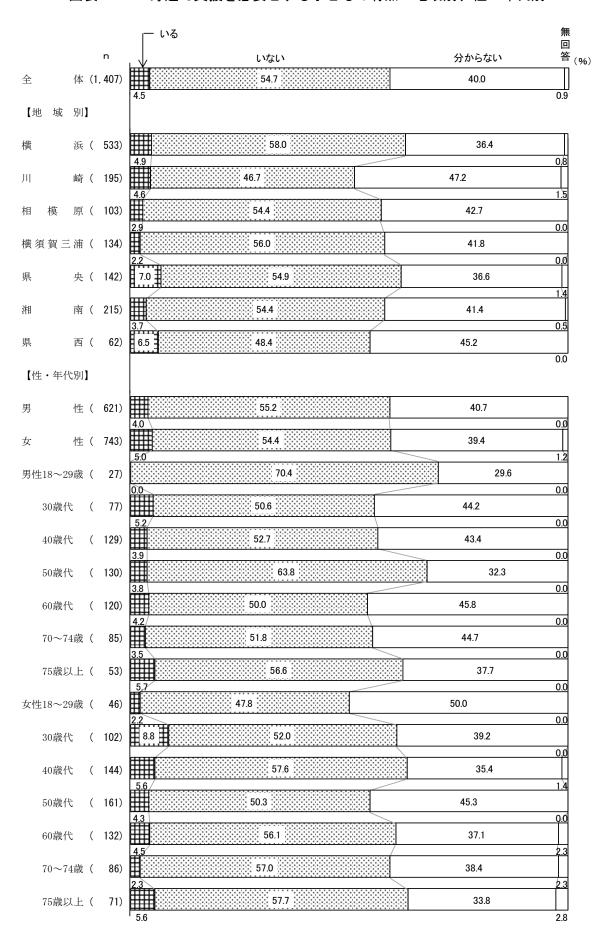
近所や職場、親戚などの身近に、経済的に苦しく行政などによる支援が必要だと思われる17歳以下の子どもがいるか尋ねたところ、「いる」が4.5%であった。

一方、「いない」が54.7%であった。(図表9-2-1)

図表9-2-1 身近で支援を必要とする子どもの有無



図表9-2-2 身近で支援を必要とする子どもの有無一地域別、性・年代別



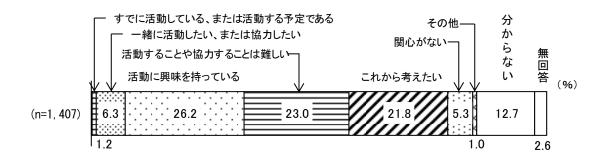
3 地域の支援活動に対する考え方【問33】

【全体の状況】

貧困などの困難な環境にある子どもを身近な地域で支援する活動、いわゆる子ども食堂や居場所の提供などについてどのように考えているか尋ねたところ、「活動に興味を持っている」が26.2%で最も多く、次いで「活動することや協力することは難しい」が23.0%であった。

(図表 9-3-1)

図表9-3-1 地域の支援活動に対する考え方



図表9-3-2 地域の支援活動に対する考え方ー地域別、性・年代別

